

第36回

高知市

都市美 デザイン賞

Kochi City
Scenery Design Award



こころ豊かな景観を創りだすために

2020 受賞

Kochi City Scenery Design Award

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。



～選考を終えて～

令和2年度の都市美デザイン賞の応募は28通あり、審査物件が20件であった。その内訳は一般建築部門が9件、住宅建築部門が10件、テーマ部門は1件であり、街並み・まちづくり部門は応募がなかった。

選考の方法は、例年は書類審査と現地調査を行っていたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で現地審査を行うことができず、書類のみの審査となった。各部門ごとに選考した結果、一般建築部門において2件、住宅建築部門において1件が入賞した。テーマ部門は受賞なしであった。

一般建築部門において入賞した2件はそれぞれの立地に合わせたデザインカに優れており、市民にも親しみがもてる外観であった。また、敷地内に配置された植栽が都市空間に潤いを与える計画であった。

住宅建築部門の入賞した物件は、高知の気候や風土に配慮した外観が周辺に柔らかい表情を醸しだし、周辺の景観をリードする都市美空間を創り出している。

いずれの部門においても特賞は、今回も該当なしであった。令和の時代初の特賞の誕生を期待する。

高知市景観審議会 会長 重山 陽一郎

過去5年間の受賞一覧

実施回 (実施年)	受賞物件名
第31回 (2015)	ちより街テラス（増築工事） 角地の家
第32回 (2016)	織田歯科医院 高台の家 近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み
第33回 (2017)	高知県自治会館 静寂の家
第34回 (2018)	オーテピア
第35回 (2019)	福留開発新社屋

一般建築部門

入賞

高知市役所新庁舎

高知市本町



評 高知市役所は、鉄骨鉄筋コンクリート造の6階建ての建物だが、その高さが高知城の三の丸の高さとほぼ同じ28mとなっている。また、建物全体が周囲の道路からセットバックしており、かつ、上層階は西側に寄せてあるため、大規模な建築でありながら圧迫感の無い建築となっている。これらは高知城への眺望や高知城天守閣からの眺望に配慮したものであり高く評価したい。

一方、エッジの効いたコンクリートの列柱が規則正しく並びさまは、格式の高さや規律正しい雰囲気を出しており市役所に相応しい建物となっている。また、仕上げの一部に県産材の石灰岩や木材が用いられたり、コンクリートの表面仕上げに洗出やはつり仕上げが組み込まれ、コンクリート打放しの建物にありがちな無表情で冷たい雰囲気とならないように配慮されており素晴らしいデザインとなっている。

- 建築主…高知市
- 設計者…日建・上田特定設計委託業務共同企業体
- 施工者…大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

一般建築部門

入賞

百十四銀行高知支店

高知市本町



評 百十四銀行は、電車通りに面したガラス張りで落ち着いたデザインのオフィスビルである。高知は日差しが強いのでガラス張りの建物は熱環境の管理が難しいことが多いが、この建物は正面が北を向いており、西側隣地にも大規模な建築があるため、2階～3階が全てガラスのカーテンウォールというシンプルなデザインが成立している。建物の南側と東側には広く張り出した黒い壁面が雑然とした都市空間から切り取られた異空間を創り出している。また、この壁を南側に回り込むと屋上へとつながる階段が容易に視認でき、かつ目立ちすぎて景観を損ねないように設えられている点も好感が持てる。さらに屋外広告物も控えめであるとともに、外構には比較的広い面積に地被と高木植栽が設えられ、オフィス街の景観を良好なものとしている。

- 建築主…株式会社百十四銀行
- 設計者…センプラン研究所（基本設計・デザイン監修）
株式会社竹中工務店（実施設計）
- 施工者…株式会社竹中工務店

住宅建築部門

入賞

No.33

高知市弥生町



評 No.33は、地球33番地のモニュメントのある江の口川南岸の広い敷地に立つ建物で、川に面して大きな開口部が設けられている。中遠景からはシンプルな外観にも見えるが、前面道路から眺めれば、深い庇や、コンクリートと木材の使い分けに特徴が見られるとともに、壁面の木材のテクスチャ、開口部のサッシュのディテールなどが繊細で上品に仕上げられており、通りを行く人に温かさや柔らかさを与える表情は好感が持てる。また、東側の黒い塀が南側の茶室へのアプローチの役割をしており、趣のある空間を創り出している。外構の駐車場部分には緑の切り込みを設け、建物東西の植栽も良い添景となっており、これからの地域の景観をリードしていくことが見込まれる。

- 建築主…濱川 信子
- 設計者…キリコ設計事務所
- 施工者…有限会社勇工務店